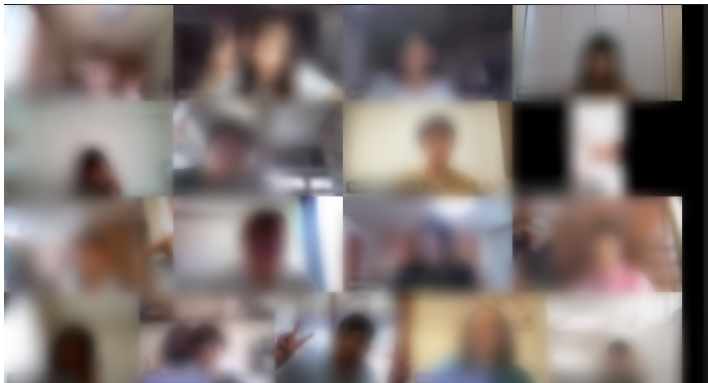


羽ばたけ! TUT2021 報告書概要

1 系 (B) 3 年

参加プログラム名	English for Uni
研修期間	2021 年 8 月 16 日 ~ 2021 年 8 月 27 日
研修先機関名・ 所在国	Swinburne University of Technology
<u>研修の概要</u> (研修テーマや課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いてください。)	この研修は、英語力の向上や海外に触れる事を目的として行われ、スウィンバン大学の提供するプログラムに 10 日間(1 日平均 3~4 時間)取り組んだ。私は「海外に触れた時の自分の感情の変化に気づくこと」、「積極性を身に着けること」を目的として、この研修に参加したが、研修では、少人数のグループワーク、英語のプレゼンテーション、現地学生との交流など英語を話す機会が多くあったため、積極性を身に着けるためにとても良い環境であったと感じる。また、オーストラリア人の雰囲気は日本人と雰囲気とは異なり、「間違えてもOK、何よりも話すことが一番大切」という考えで、皆とにかく自分が言いたいことはすぐに話す傾向があるため、自分自身も、とても話しやすかった。また、現地学生との交流ではスウィンバン大学の学生、韓国の大学生と会話したことで視野を広げることができたり、海外の友達をつくることもできた。10 日間英語だけで話す状況であったため、これまで行ったことのない取り組みであり難易度は高かったものの、積極性と英語力向上にととてもつながるととても良い経験になった。
<u>活動写真 1 枚</u> (修了証の写真でも可)	

羽ばたけ! TUT2021 報告書

研修内容

含める内容

① 参加の目的や動機

私はこの研修に2つの目的があり、参加した。

1つ目は、異国の異なる文化を持つ人と触れた時の自分の感情の変化に気づくことである。私は、将来海外に住んだり、海外で働きたいと考えているものの、現段階における海外進出の動機は明確なものではなく、なんとなく自由そうで縛られていなくて好きなように生きているというイメージがあるからというのが事実である。そして、これらのイメージも自分自身が経験したものではなく、SNSであったり、テレビから得た情報であるため、私は同じように感じないかもしれない。だからこそ、自分が経験することで海外に行きたいという気持ちが高まる可能性が高まったり、実際に経験することで、イメージが湧いたり、自分自身の実力に気づくことができると考えた。

そして2つ目は、積極性を身につけることである。私は周りの目を気にしすぎてしまうという短所があり、「間違えたらどうしよう」「変な風に思われたら嫌だ」という感情が一番に働くため、大学生活においてもなかなか自分の意見を言うことができていない。このことは日本人ならではの悩みだと考えており、この環境の中で克服することは困難だと考えたため、比較的自分の意見を素直に言う、間違いを気にしないと言われている海外の方の中に身を置くことで自分を変える環境にすることができるのではないかと考えた。

② 研修内容

- (1)語学研修
- (2)ACMI virtual excursion
- (3)スインバン大学 キャンパスツアー
- (4)現地学生との交流
- (5)メルボンのバーチャルツアー
- (6)世界のビジネス文化の講義
- (7)ワークショップ
- (8)オンラインホームステイ

・1～3, 6～8 日目：語学研修

このプログラムの参加者の中で複数のクラスに振り分けられ、クラスごと語学研修を行った。1クラス15人程度であり、クラス内で3～4人のブレイクアウトルームで活動を行うことがほとんどであった。活動内容は、オーストラリアのクイズや単語クイズ、英語の演習を解く、与えられたテーマを基に英語で会話をするというものであった。また、語学研修の最終日にはグループごとにテーマを決めて英語のプレゼンテーションを行った。プレゼンテーションのスライド作り、発表テーマ、話す内容など、グループ内で英語で話し合いながら作っていく必要があるため、英語力の向上につながるアクティビティであった。

・4 日目前半：ACMI の virtual excursion

ACMI の館長の方と zoom をつなぎ、館内の説明や様々な映像を見せてもらった。オーストラ

リアの有名な場所について知るきっかけとなった。

- ・ 4日目後半：スインバン大学のキャンパスツアー、スタッフインタビュー

実際に大学の様子を zoom 上で見たり、オーストラリアの街並みを見ることができ、実際の様子を知ることができた。

- ・ 5, 9 日目：現地学生との交流

スインバン大学の生徒と韓国の大学生と日本の大学生がそれぞれ 5~6 人のグループにランダムで振り分けられ、英語で会話をした。異国の大学生と話すことのできる機会はあまりないため、良い経験になった。また、この交流をきっかけにオーストラリアと韓国の友達を作ることでもできた。

- ・ 7日目後半：メルボンのバーチャルツアー

このプログラムのスタッフの方がメルボンについて、動画で紹介してくれた。メルボンのことをあまり知らなかったが、メルボンの良い所をたくさん知ることができた。

- ・ 10 日目前半：ワークショップ

オーストラリアの都市について 4 人 1 グループで 30 分で調べて 5 分プレゼンテーションをするという取り組みを行った。30 分という短い準備時間の中で、どのように協力しプレゼンテーションをつくるかという初めての試みであり、とても良い経験になった。

- ・ 10 日目後半：世界のビジネス文化の講義

日本と世界を比較した時にどのような場面でどのようなことが異なるのかということを学んだ。ビジネスシーンにおける違いや日本人特有の文化を考えることができた。

- ・ 3, 6, 9 日目：オンラインホームステイ

ホームステイ先の現地の人の家でバーチャルツアーを行い、その後会話や質問をした。ホームステイをするとどのような感じなのかという感覚をつかむことができた。また、家のつくりであったり、雰囲気が日本とは全く違うことも分かった。

③ 研修の成果、研修で獲得したもの、当初設定した行動目標の達成度、問題点

10 日間英語を話さなければならない環境に身を置いたことで、自分の語彙力の無さに気づくことができ、自分の感情は海外に行きたいというポジティブな気持ちよりも、話せなくて悔しいから今はとにかく英語を話せるようにしなければという気持ちの方が大きいことに気がついた。会話の中で自分の意見を言いたかったり、相手の意見に賛同したくても、どの単語を使えば良いのか分からず、結局言えなかったり、相槌だけで終わってしまうという経験を多くした。そのため、オーストラリアの良い所をたくさん知れて、自分の知らない世界がまだまだあるなど分かり、とてもワクワクしたが、この語彙力では生活するのに心配だと分かった。海外に触れなければ、この感情に気づかないまま終わっていたと考えると、自分の感情に気づくという活動目標は十分に達成したと考える。

また、正しい文法や発音、単語が分からなかったり、完全に正しいという自信がなくても、とにかく話せばニュアンスでも言いたいことは伝わると分かった。これは、自分が発信者の場合だけではなく、誰かが話しているのを聞いているときも、文法や単語が違ってなんとなくで会話を進めることが可能であった。今までの自分であれば、合っているか分からないから黙っておこうと考えていたが、英語ではニュアンスで伝わると気づいたおかげで、自信がなくても積極的に話すことができた。また、自分の英語が不安だからこそリアクションの大切さを実感した。うなづきや表情の変化、「I see」の一言があるだけで話しやすさが大きく変わってくると分かった。周りの参加者の空気感も自分が間違えたとしても全く気にしてないし、困っていたらお互いに助け合うといった良い雰囲気だったため、とてもやりやすかった。

④ 今後の目標、課題、当初設定した「研修後に実践する行動目標」の見直し

この研修を経て、自分の単語力の無さを実感した。これまで、英語をインプットするばかりでアウトプットする機会が無かったため、自分の実力の立ち位置が分からなかった。しかし、英語を専攻している学生や現地の学生と触れ合うことで、自分の実力に気づくことができた。そのため、今後の勉強の方針としては、スピーキング能力の上昇のためオンライン英会話であったり、音読のような英語を口に出す練習をすること、日常会話の単語を覚え活用できるようにしていこうと思う。また、英語を用いた時の積極性は身についたものの、周りが日本人という環境になると、日本人は空気を読んで周りを尊重する傾向があるため、この研修で身に着けた積極性を100%出すことは難しいかもしれないことが課題である。しかし、リアクションが大切だということを学んだため、自分が積極的になるように心がけると共に話しやすい環境づくりにも配慮していきたいと考える。

⑤ その他感想など

私は、この研修に応募する際「私の挑戦の第一歩にしたい」と申請書に記入しました。この挑戦は本当にやって良かったし、とても良い経験になりました。実は、応募した時はやる気しかなかったものの、実際に採択されてからプログラムが始まるまでの期間、とても不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、いざ研修が始まってみると不安よりも良い学びや楽しさの感情の方が強く、この2週間は様々な感情を経験できました。普段、逃げの姿勢で生きていた私は、特に当たり障りのない日常を送っていましたが、この2週間は刺激だらけであったので、初めのうちはどうしたら良いかととても悩みましたが、徐々に対処の仕方が分かってきて、自分の感情に向き合えるようになってからは楽しめるようになりました。この経験を経て、今後は攻めの姿勢で何事にも挑戦できる気がします。この第一歩が踏み出せなければ、ただの2週間でしたが、このようなプログラムを実施していただいたおかげで自分が変わる2週間にすることができました。きっかけをくださり、採択という形で私の挑戦の後押しをしていただき、本当にありがとうございました。